



FUKUOKA BUSINESS FACT BOOK

福岡市企業誘致パンフレット

ビジネス進出都市・福岡

人口増加数・増加率 1 位（※1）。

福岡市には、毎年 50 を超える企業がビジネス機会を求めて進出します。
この章では、福岡市の発展の流れと、選ばれる 4 つのポイントを紹介します。

※政令市(2010-2020国勢調査比)

「アジアの玄関口」として知られる福岡市は、人口165万人を誇る日本有数の都市です。

実は福岡市は、政令指定都市の中で唯一「一級河川」がありません。大規模な工場の建設に向かず、製造業の発展が困難でした。そこでITやクリエイティブ、サービス産業といった第三次産業の分野で成長したという背景があります。

福岡市では、短期・中期・長期の3段階で成長戦略に取り組んでいます。

①短期は「交流人口の増加」。MICEや国際イベントの誘致を積極的に行い、観光面では「屋台」に代表される食や文化の魅力をアピール。交流人口を増やしてさまざまな経済効果を生み出しました。

②中期は「知識創造型産業の振興」。「エンジニアフレンドリーシティ」を掲げ、エンジニアの成長や活躍をサポートする「エンジニアカフェ」を運営。さらに海外のエンジニアの採用を後押しする「エンジニアビザ」制度を全国で初めて運用するなど、IT・

クリエイティブ人材と企業の支援と集積を進めています。

③長期は「支店経済からの脱却」です。2014年の国家戦略特区「グローバル創業・雇用創出特区」選定を機にスタートアップ支援を本格化。開業率は政令市で1位を記録しています。

都心部のアップデートで アジアのリーダー都市へ進化

現在、福岡市では100年に一度の都市

アジアから見た福岡

南北を逆さにした世界地図。福岡から大阪までの距離(約550km)は、韓国・ソウルまでの距離と同程度。東京までの距離(約900km)は、中国・上海までの距離と同程度です。アジアの各都市へのアクセスのよさがわかります。



福岡市の発展の流れ



一級河川のない都市。
知識創造型産業へ注力

福岡市は、政令指定都市の中で唯一「一級河川」がなく、工場の誘致などが困難だった。ソフト領域に注力し、今の福岡の土台となる。

圧倒的利便性を武器に、
アジアのハブへと成長

MICEの推進や国際的イベントの誘致を進め、交流人口が増加。さらに「屋台」をはじめとする食文化や歴史的スポットの紹介など独自の魅力を磨き込み、アジアをはじめ世界中から人々が集まり、食べ、過ごす都市へと成長し



ビジネスの集積に伴い
都市をアップデート

福岡を訪れる人々や、進出する企業が増加した結果、市内のオフィスビルの空室率が低下。そこで、耐震性の高い先進的なビルを供給する都市のアップデートプロジェクトを始動。





のアップデートと言われる「天神ビッグバン」「博多コネクティッド」が進行中です。天神・博多で多くのビルが建て替わり、先端のビジネス環境を備えた街へと進化しています。

企業の福岡進出の特徴としては「知識創造型産業」に分類される高付加価値なビジネスを創出する企業や、本社機能があげられます。毎年50社以上が福岡に進出する、その魅力は大きく4つ。「ビジネス

環境」「人材」「生活環境」「BCP対策」です。本資料ではここから、4つのポイントを中心に、福岡市の持つさまざまな「ファクト」を紹介します。

福岡市が選ばれる4大要素

01



圧倒的な
利便性を誇る
「ビジネス環境」

(→P4)

02



優秀な
「人材」の宝庫

(→P6)

03



仕事も暮らしも
充実する
「生活環境」

(→P8)

04



本社機能・
バックアップの
適地

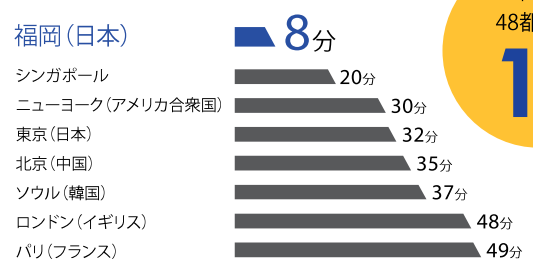
(→P9)

01 BUSINESS ENVIRONMENT 圧倒的な利便性を誇る「ビジネス環境」

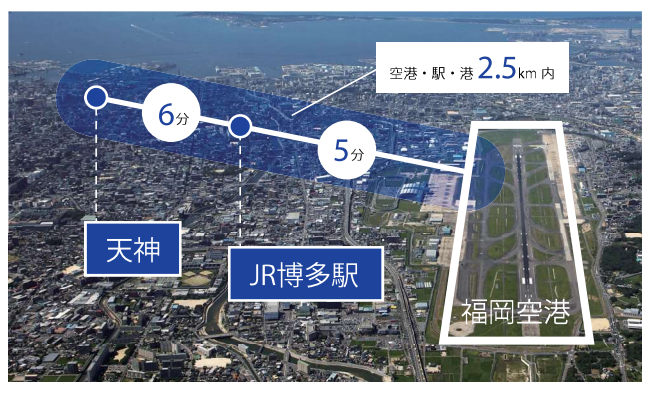
福岡市の大きな特徴は、空港へのアクセスのよさや、全国・アジアへの利便性といった、ビジネスしやすい環境にあります。それに加え、官民連携での都市アップデートが進み、今大きな発展を遂げていま

福岡市のアクセス情報

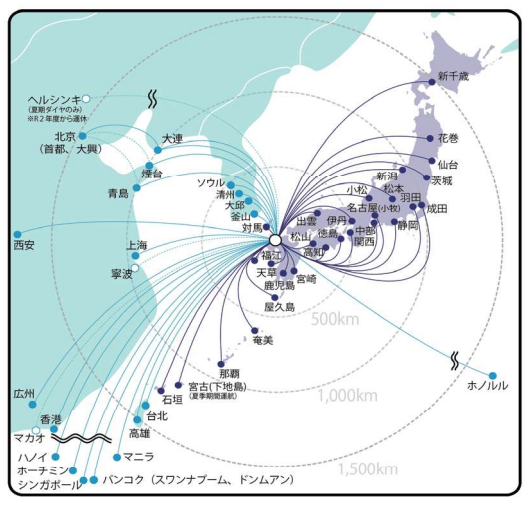
空港から都心部へのアクセス



出典:「世界の都市総合ランキング Global Power City Index YEARBOOK 2024」(森記念財団 都市戦略研究所)



飛行機の交通網

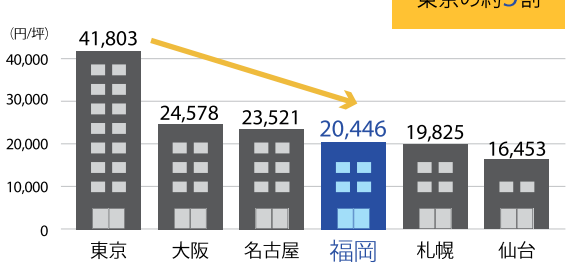


新幹線の交通網



オフィスの平均賃料

オフィスの平均賃料(坪単価)

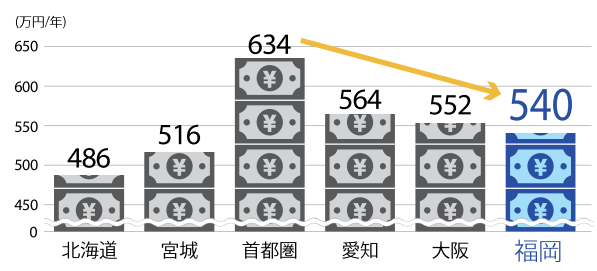


出典:「オフィスマーケットレポート」(三幸エステート) ※2025年2月時点
6大都市 大規模ビル(200坪以上)・主要駅前地区

平均賃金

平均賃金(情報通信業)

IT人材の獲得コストが首都圏の約85%



※年間給与+賞与合計 出典:「令和6年賃金構造基本統計調査」
※首都圏(東京、神奈川、埼玉、千葉の平均値)

Column

福岡市のアップデート施策

成長する福岡市都心部

アジアのビジネスハブとして福岡市の成長のエンジンとなっている2つのプロジェクトが「天神ビッグバン」「博多コネクティッド」です。国際競争力のあるグローバルなビジネス環境が創出されています。



スタートアップ支援

福岡市は2012年に「スタートアップ都市ふくおか」宣言を行い、全国に先駆けてさまざまな支援を行ってきました。大名エリアにあるスタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next (FGN)」は、福岡市と民間企業数社が運営委員となり運営しています。

開業率

1位

政令市/7年連続



九州大学学術研究都市

九州大学の伊都キャンパス移転(平成30年完了)により、教育・研究・産業が融合する学術研究都市が誕生しました。研究開発機能が集積することで、産学連携による新事業創出が期待されています。



TEAM FUKUOKA

2020年に発足した産学官が一体となった国際金融機能誘致の推進組織「TEAM FUKUOKA」。国内外の資産運用業やフィンテック企業等の集積を図り、継続的にイノベーションを創出する国際金融都市を目指します。

設立約5年で国内外**35**社を誘致

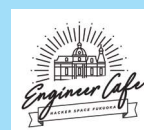
グローバルスタートアップネットワーク

福岡市から海外を目指すスタートアップが増え、また海外から優秀なスタートアップが福岡で活躍できるよう、グローバルなスタートアップネットワークを構築。現在、12カ国・地域の17拠点と連携しています。



ENGINEER CAFE

エンジニアや、エンジニアを目指す方、エンジニアに関わる全ての方が利用できる、エンジニアのための交流拠点。イベントやコワーキングスペースを無料で開放しています。



02 HUMAN RESOURCES

優秀な「人材」の宝庫

福岡市では現在も人口が増加を続け、増加数・増加率とも1位。
中でも、これからのビジネスを担う若い人材が九州全土から集まってきます。

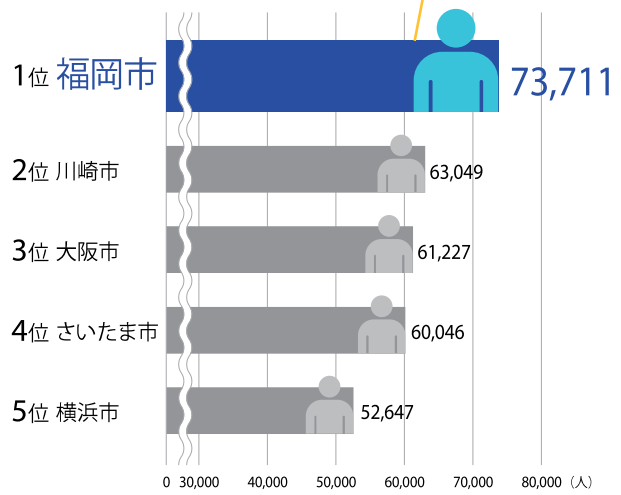


人口増加

人口増加数が多い都市

(H27年10月～令和2年10月の増加数)

政令市中
1位

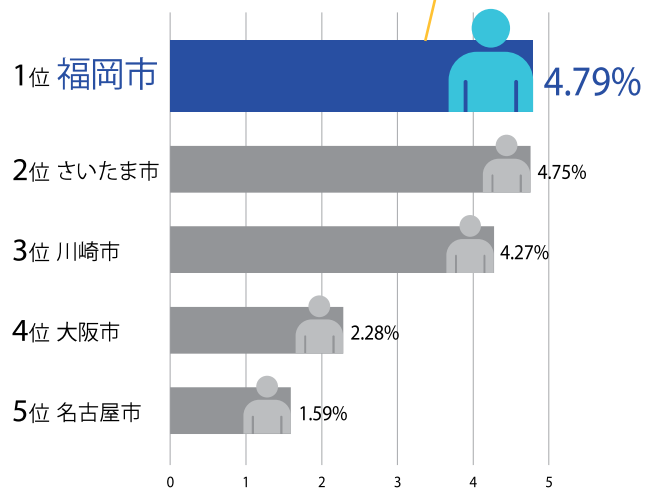


出典:「国勢調査」(令和2年10月1日)

人口増加率が高い都市

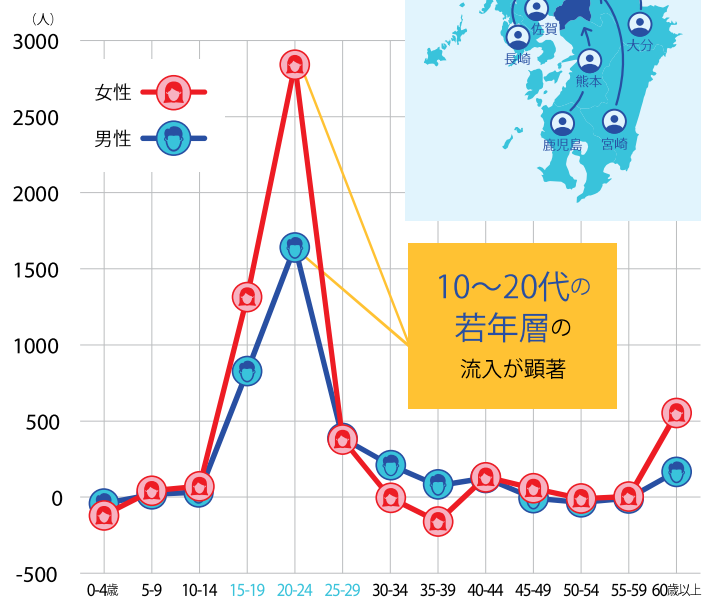
(H27年10月～令和2年10月の増加率)

政令市中
1位



出典:「国勢調査」(令和2年10月1日)

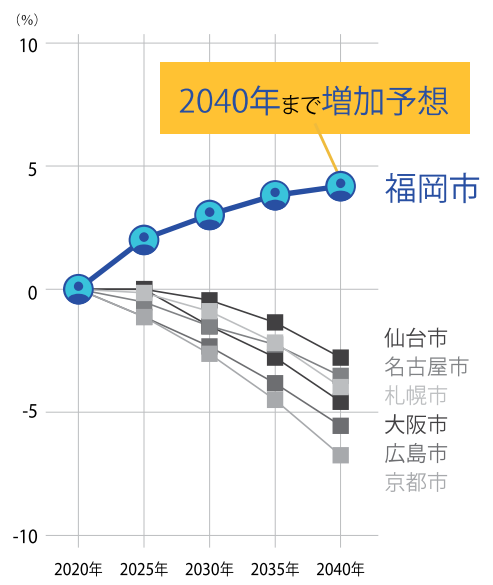
福岡市の転入超過数



出典:「住民基本台帳人口移動報告 2024年」(総務省)

主要都市(関東圏除く)別の将来人口推計

(2020年=0)



出典:「日本の地域別将来推計人口」(令和5(2023)年推計)
(国立社会保障・人口問題研究所、福岡市は福岡市による推計)

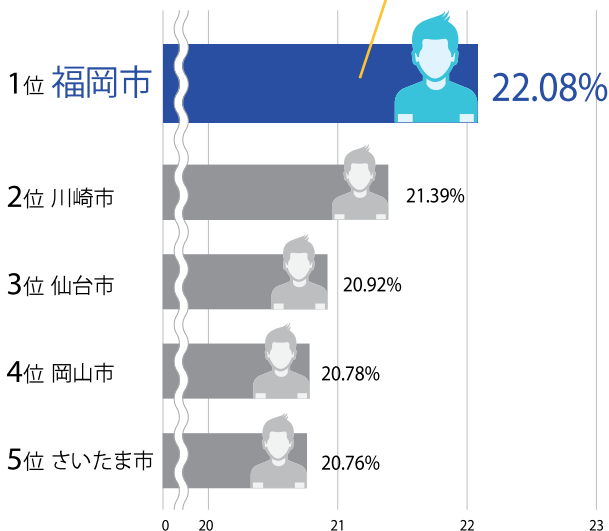


若手人材

若者(10代・20代)の割合

0～14歳の増加数・率も
政令市1位

※国勢調査(2010→2020)



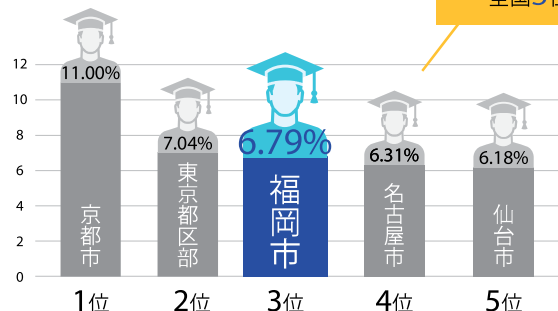
※資料:「令和2年国勢調査」(人口等基本集計)より福岡市作成
※10～29歳の人口及び割合の算出については、年齢不詳を除いたもの

政令市中

1位

大学生などの学生数割合

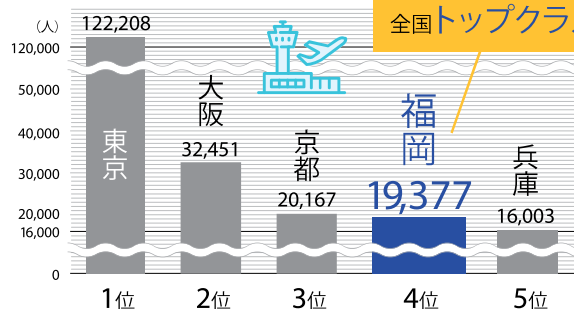
東京都に次いで
全国3位



出典:「大都市比較統計年表/令和3年」「令和2年国勢調査」

都道府県別留学生数

東京、大阪に次いで
全国トップクラス



出典:「2024(令和6)年度 外国人留学生在籍状況調査結果」(独立行政法人 日本学生支援機構)

都市別の学校数、生徒数

7,000人の理系学生を毎年輩出

都市	大学数(校)				生徒数(人)			
	大学	短大	専門学校	合計	大学	短大	専門学校	合計
福岡市	14	9	86	109	73,541	3,328	31,492	108,361
札幌市	16	5	78	99	51,464	1,228	16,885	69,577
仙台市	11	4	58	73	49,701	2,225	15,745	67,671
さいたま市	3	1	32	36	15,699	284	8,313	24,296
千葉市	8	3	33	44	27,487	1,151	8,952	37,590
東京(23区)	102	25	324	451	577,549	5,496	109,148	692,193
横浜市	16	2	59	77	88,223	655	19,358	108,236
川崎市	7	3	7	17	25,921	522	1,134	27,577
名古屋市	19	6	115	140	106,217	1,636	39,891	147,744
京都市	29	7	50	86	152,409	2,013	11,849	166,271
大阪市	15	8	159	182	36,279	2,435	55,392	94,106
神戸市	17	4	43	64	63,722	725	11,105	75,552
広島市	12	3	41	56	31,606	873	8,266	40,745
北九州市	9	4	31	44	21,409	1,014	5,889	28,312
熊本市	7	1	35	43	24,875	394	6,779	32,048

出典:「令和6年度学校基本調査」

03 RESIDENTIAL ENVIRONMENT

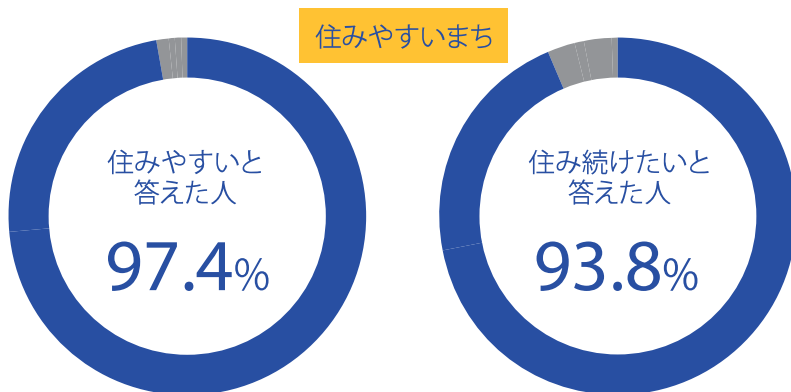
仕事も暮らしも充実する「生活環境」

「住みたい街ランキング」1位。全国トップレベルの生活環境も福岡市の特徴です。
通勤時間の短さ、物価の安さは、現役世代・子育て世代に優しい環境です。



暮らしやすさ

福岡に関する 住民アンケート

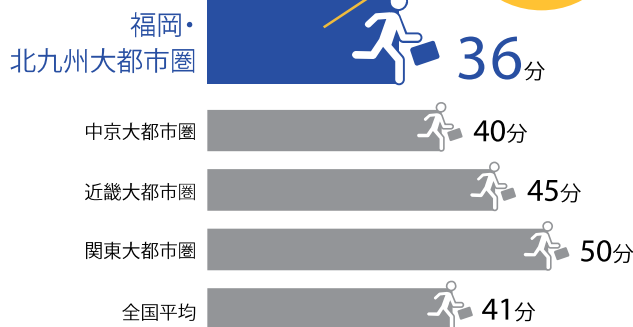


出典：令和6年度 市政に関する意識調査「ふくおかボイス」(福岡市)
※「住みやすい」は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合算

通勤・通学時間 (平日の片道換算)

通勤者の約6割は30分未満

※フクオカ・グロス2024



総務省「令和3年社会生活基本調査」調査票Aに基づく行動の種類別行動者平均時間
※行動者平均…通勤・通学をしなかった人を除外して算出した平均値

消費者物価指数

[21大都市比較] (全国を100とした場合の割合)



出典：「フクオカ・グロス2024」

住みたい街 ランキング

5年連続 全国

1位

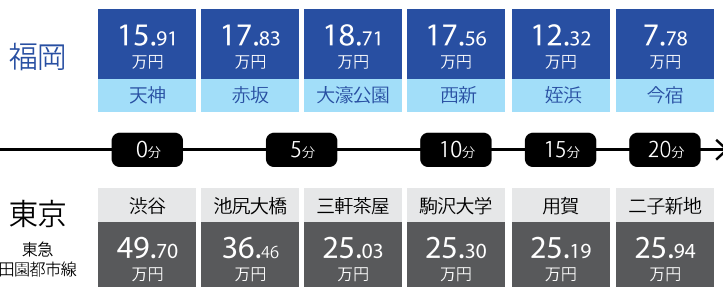
	2022年	2023年	2024年
1位	福岡市	福岡市	福岡市
2位	那覇市	那覇市	那覇市
3位	横浜市	横浜市	横浜市
4位	仙台市	仙台市	仙台市
5位	札幌市	大阪市	札幌市

出典：「住みたい街ランキング 自治体ランキング」<全国版> (大東建託)

住宅家賃

※2LDK~3DK (50~60㎡)、駅から徒歩10分以内

家賃は東京の
半分以下



出典：不動産・住宅情報サイト「LIFULL HOME'S」

04 BUSINESS CONTINUITY PLAN 本社機能・バックアップの適地

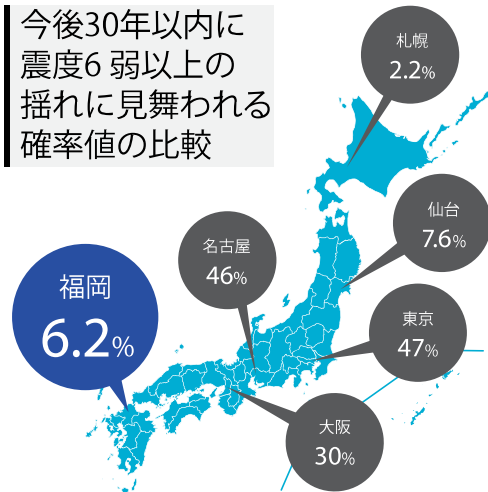


企業が地域に拠点を置く際の重要ポイントがBCP(事業継続計画)です。福岡市は、東京・大阪と一定の距離があり、五大都市圏の中で唯一「日本海側」に位置するため、首都圏との同時被災が起こりにくい立地です。

震災リスク

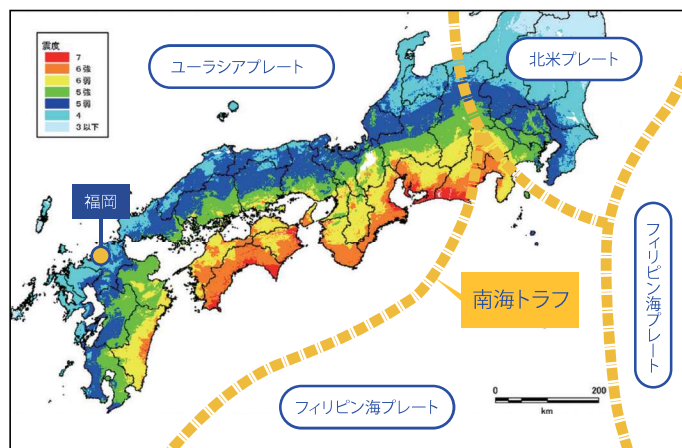


今後30年以内に震度6弱以上の揺れに見舞われる確率値の比較



都道府県庁所在地の市役所(東京都は都庁)及び北海道の各振興局位置における確率値 出典:「全国地震動予測地図2020年版」

南海トラフ巨大地震 震度分析



出典:「南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ 報告書 説明資料」(中央防災会議 防災対策推進検討会議 南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ)

台風リスク



福岡市に接近した台風の数

(台風の中心が福岡管区気象台を中心に半径300キロメートル以内を通過)

年	回数
2017	3
2018	5
2019	3
2020	2
2021	3
2022	3

福岡は意外と接近数が少ない

出典:福岡管区気象台、市民局防災・危機管理部防災推進課

台風の上陸数が多い都道府県

(1951年～2024年第26号まで)

順位	都道府県	上陸数
1	鹿児島県	44
2	高知県	26
3	和歌山県	25
4	静岡県	22
5	長崎県	18
6	宮崎県	14
7	愛知県	12
8	千葉県	9
9	熊本県	8
10	徳島県	7

福岡県への上陸は1回のみ(福岡市外)

出典:「台風の統計資料」(気象庁)

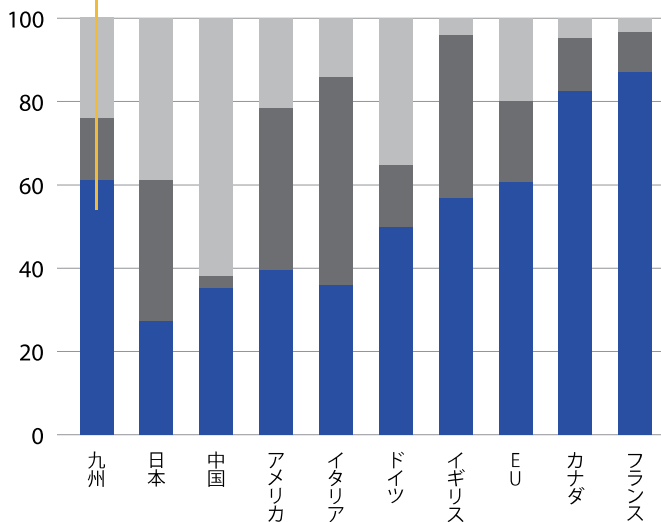
クリーンエネルギー比率



非化石エネルギー

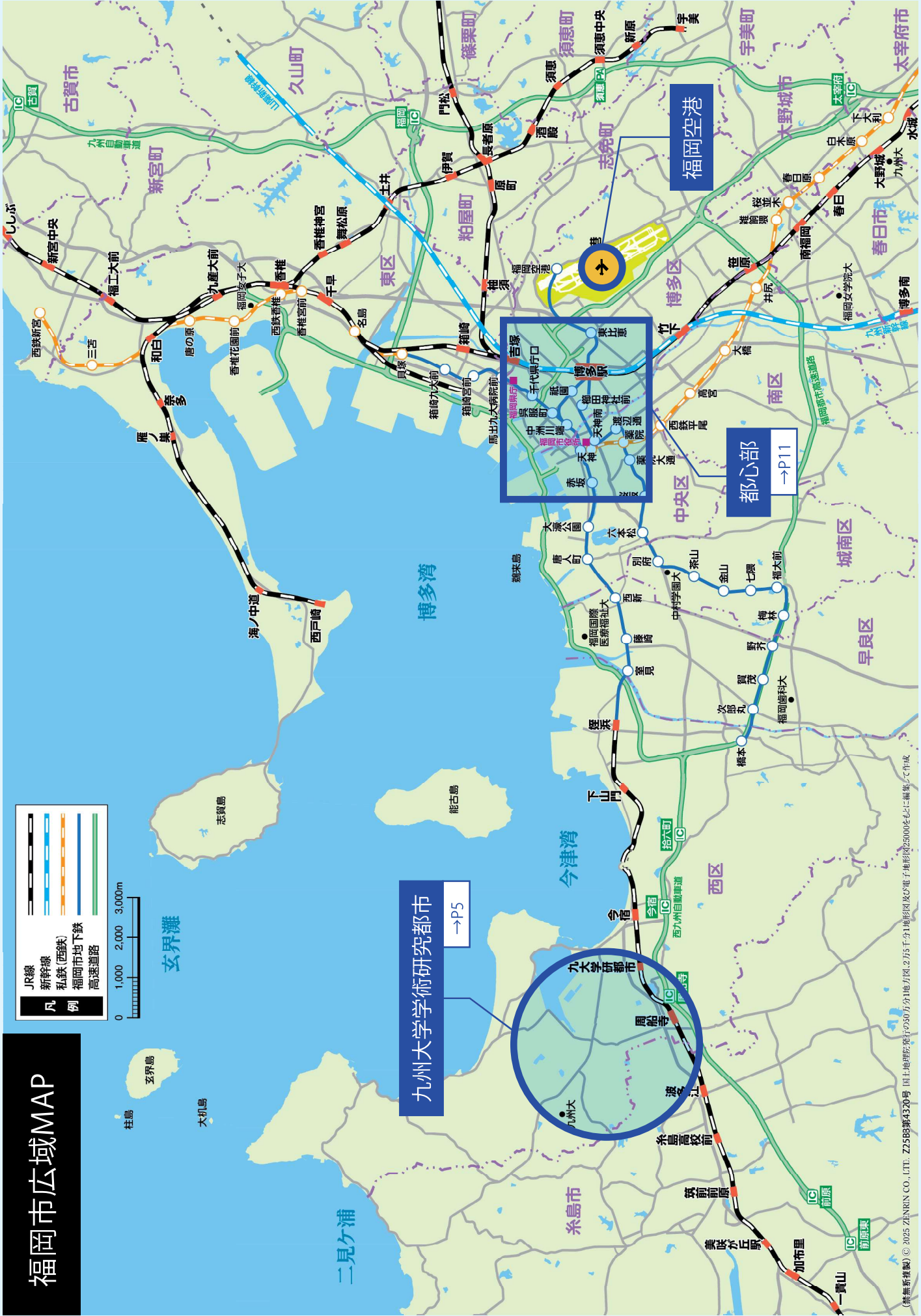
61%

- 非化石(再エネ、水力、原子力)
- 天然ガス
- その他(石炭、石油等)



出典:資源エネルギー庁「再生可能エネルギーの国際比較(発電比率)」を一部加工 ※九州の分は九州電力ホームページより

福岡市広域MAP



	JR線
	新幹線
	私鉄(西鉄)
	福岡市地下鉄
	高速道路

凡例



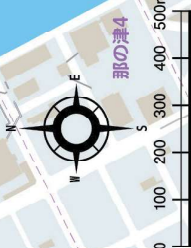
九州大学学術研究都市 →P5

都心部 →P11

福岡空港

(禁無断複製) © 2025 ZENRIN CO., LTD. Z25B8第4320号 国土地理院発行の30万分の1地方図、2万5千分の1地形図及び電子地形図及び電子地形図(2500メートル)を基に編集して作成

都心部MAP



Fukuoka Growth Next
(スタートアップ支援施設)

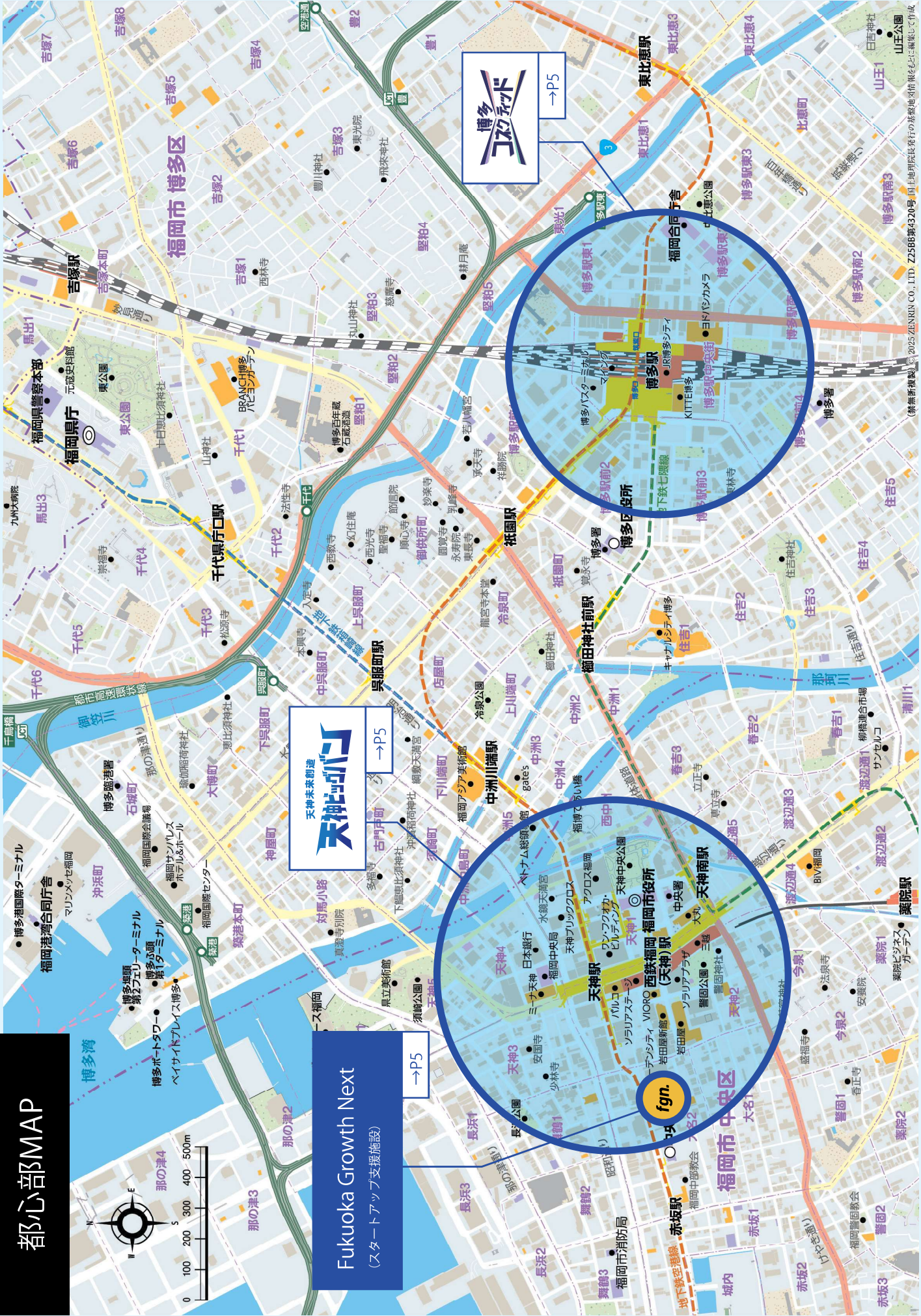
→P5

天神ヒロバ
天神未来創造

→P5

博多ヒロバ

→P5



(無断複製) © 2025 ZENNIN CO., LTD. Z25B68第4320号 国土地理院長発行の基礎地図情報をもとに編集して作成

福岡市の基礎情報

Basic Information about Fukuoka City

市章



面積

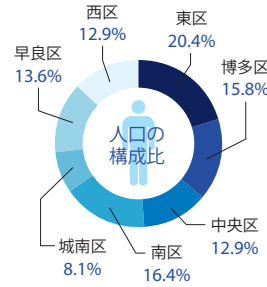


出典:「令和6年全国都道府県市区町村別面積調査」(国土交通省)

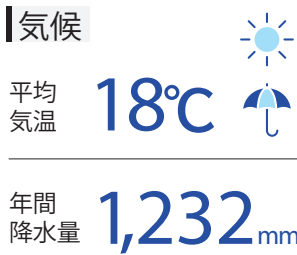
人口



令和7年1月1日時点(福岡市総務企画局企画調整部統計調査課)



気候



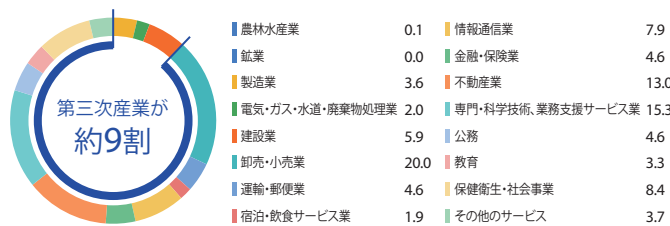
出典:「福岡市統計書 令和5年版」(福岡市)

市内総生産



令和3年度 出典:福岡市

産業別構成比(経済活動別市内総生産)



出典:福岡市(令和3年)

姉妹都市等

姉妹都市

- | | |
|-------------------|-------------------|
| オークランド市(アメリカ合衆国) | イポー市(マレーシア) |
| 広州市(中華人民共和国) | 釜山広域市(大韓民国) |
| ボルドー市(フランス共和国) | アトランタ市(アメリカ合衆国) |
| オークランド市(ニュージーランド) | ヤンゴン市(ミャンマー連邦共和国) |

姉妹港

オークランド港(ニュージーランド)

友好港

上海港(中華人民共和国)
広州港(中華人民共和国)

貿易協力港

オークランド港(アメリカ合衆国)
アントワープ・ブルージュ港(ベルギー)

相互交流港

大連港(中華人民共和国)
天津港(中華人民共和国)

福岡市が企業立地を推進する産業分野・機能

知識創造型産業

情報通信技術、自動車やロボットに関するソフトウェア等開発/デジタルコンテンツ及びデザインの研究開発/ナノテクノロジーを活用した研究開発/システムLSI設計等の半導体に関する研究開発/各種機械の設計等

健康・医療・福祉関連産業

医療機器、福祉機器、医薬品、保健機能食品等の研究開発等

環境・エネルギー関連産業

太陽電池、水素エネルギー等のエネルギーに関する研究開発/リサイクル関連技術、土壌・水等の浄化に関する研究開発/バイオテクノロジーを活用した研究開発等

物流関連産業

貨物の運送業及び倉庫業等

都市型工業

食料品製造業、印刷関連業その他の、都市において需要がある製品の製造又は加工

外国・外資系企業(※1)

【日本初進出の場合】日本国内で初めて行う事業
【二次進出の場合】上記の5対象分野及び金融企業(※2)に関する研究開発またはサービス提供を行う事業

本社機能

- 複数の事務所に対する業務または全社的な業務を行う部門
- 研究所、研修所

コールセンター等

- 電話やインターネット等の通信利用、PBX、CTI等のシステムを用いて、相談、案内、受注等の顧客対応を集約的に行う業務
- データ管理、事務処理等の情報処理を集約的に行う業務

(※1) 外国企業(外国の法令により設立された企業、外国に主たる事務所を有する企業等)及び外資系企業(国内企業のうち、発行済株式の総数または出資総額の割合の50%超を外国企業等または外国人が保有する企業等)が対象。
(※2) 法に定められた免許等を受けた銀行、保険会社、監査法人、証券会社等が対象。

経済観光文化局 投資交流推進部 企業誘致課

電話番号: 092-711-4849
FAX 番号: 092-711-4354
E-mail: invest@city.fukuoka.lg.jp
住所: 〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1

福岡市 東京事務所《関東方面の事業者様》

電話番号: 03-3261-9712
FAX 番号: 03-5276-7895
E-mail: tokyooffice.GAPB@city.fukuoka.lg.jp
住所: 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1 日本都市センター会館 12 階

